

太陽熱反射塗料

クールトップ®

カタログ

No.723-1

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

高耐候性環境対応形水系屋根用遮熱塗料

クールトップ®<sup>®</sup> Si

屋根に塗装することにより、太陽熱を反射し、建物内部の温度上昇を防ぐ、  
環境に優しい、省エネルギー型の屋根用遮熱塗料です。

高耐候性

セラミック配合

環境対応形

遮熱効果

防藻・防かび性



スズカイン

## 塗膜性能

- 架橋により強靱な塗膜が形成されるため、優れた塗膜性能を有します。

試験項目	試験結果	試験方法
鏡面光沢度(60度)	83	7日間乾燥後
引っかき硬度	B	7日間乾燥後
付着性	25/25	基盤目テープ法 2mm角25マス
耐水性	異常なし	水道水7日間浸漬
耐アルカリ性	異常なし	飽和石灰水7日間
耐酸性	異常なし	3%硫酸水溶液7日間
耐温水性	異常なし	50℃温水4日間
耐湿潤冷熱繰返し性	異常なし	10サイクル
防かび性	異常なし	JISZ 2911 準拠
防藻性	異常なし	寒天培地法による
ホルムアルデヒド放散量(mg/L)	0.00	デシケータ法(0.12以下=F☆☆☆☆相当)

## 標準色



●クールブラック



●クールネイビー



●クールダーク



●クールグリーン



●クールブルー



●クールブラウン



●クールグレー

注) 上記色見本は印刷のため、現物との多少の色差はご容赦ください。

## 容量

クールトップSi

16kg/缶

水性ベスコロ下塗

14kg/缶

レベモル300A

20kg/袋

レベモルカチオン700B

18kg/缶

スズカルマシーラー

13.5kgセット/缶

レベクールコート

10kg/缶

「クールトップSi」は、屋根に塗装することにより、太陽熱を反射して建物内部の温度上昇を防ぐ、環境に優しい省エネルギー型の屋根用遮熱塗料です。

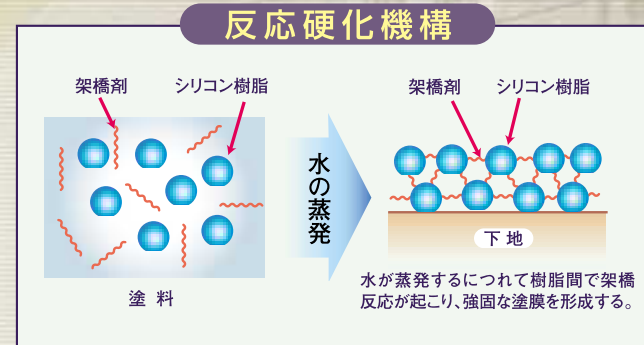
## 特長

### 1 遮熱効果

- 「クールトップSi」は高遮熱性の顔料とセラミックバルーンの相乗効果により太陽光による熱を反射し、建物内部の温度上昇を緩和します。
- 冷房用エネルギーの節約になります。

### 2 高耐候性

- 「クールトップSi」は反応硬化形のアクリルシリコン樹脂を使用することにより、強靱な塗膜が形成されるため、耐久性、耐汚染性に優れ、長期にわたり建物を保護します。



### 3 環境対応形

- VOC (揮発性有機化合物) をほとんど含まない水系塗料です。
- ホルムアルデヒド放散等級は F☆☆☆☆ です。
- 塗料中に環境ホルモン物質を含みません。
- 塗膜から水で溶出する成分を低減することにより、COD (化学的酸素要求量) を抑制できます。

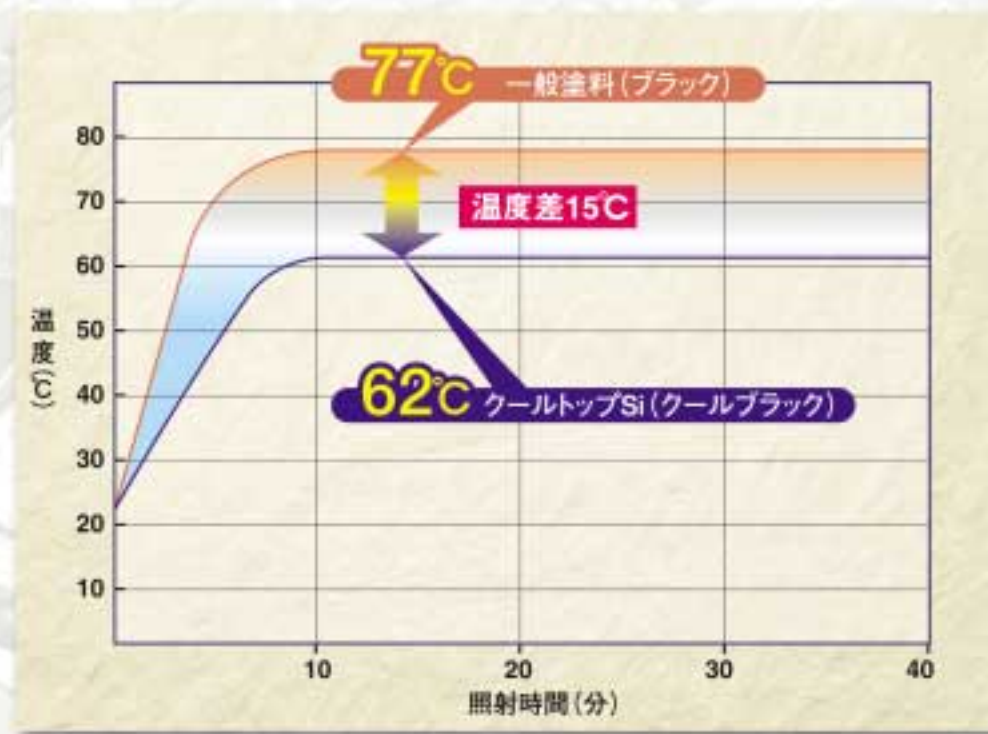
### 4 防藻・防かび性

- 強力な防藻・防かび性で微生物の発生を抑えます。



## 照射試験

- クールトップSi塗装面に昼光ランプの光を照射して、素材裏面温度の経時変化を測定した。クールトップSiは一般塗料の同色に比べ温度差15℃の遮熱効果を示した。



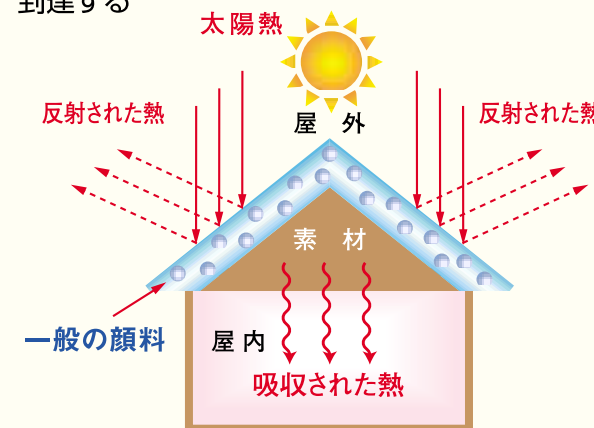
注) クールトップSiの濃色と一般塗料の淡彩色とを比較すると、裏面の温度差が少なくなる場合があります。  
注) 気温が低い場合(10℃以下)、遮熱効果は発揮されません。

## 遮熱の機構

高遮熱性の顔料とセラミックバルーンの相乗効果により、太陽光による熱を反射し、建物内部の温度上昇を緩和します。

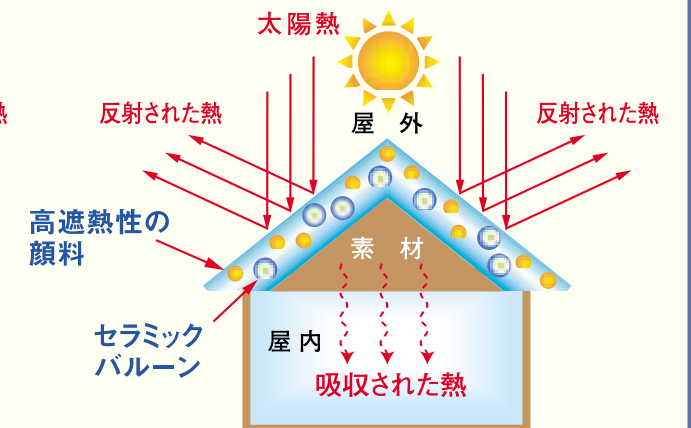
### 従来の塗料

- 赤外線により基材が加熱し室内に熱が到達する



### クールトップSi

- 熱の元となる赤外線等を反射





## 標準塗装仕様

### ●新生瓦(カラーベスト・コロニアル/フルベスト)屋根

工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗 回 数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・表面の脆弱部、劣化している旧塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で、除去する。 (特に新生瓦の場合、板と板のすき間は入念に清掃する。) ・素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する)					
下塗り	水性ベスコロ下塗	100	0.15~0.20	1	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	クールトップSi 清 水	100 0~10	0.12~0.15	2	4時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

- ・下塗りに透明型ラフトンシーラー、プライマーUも使用できます。ただし、十分な高圧洗浄ができない場合、素地の劣化が著しい場合は、水性ベスコロ下塗の使用は避けてください。
- ・下地調整材にレベモルカチオンベースが使用できます。レベモル弾性ベースは使用できません。
- ・中塗りにレベクールコートを使用すると更に遮熱効果が得られます。
- ・水切り部で上下の板が塗料で付着している箇所は、皮スキなどで縁切りしてください。

### ●セメント瓦・屋根

工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗 回 数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・表面の脆弱部、劣化している旧塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で、除去する。 ・素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する)					
下塗り	レベモルカチオン#700B 清 水	100 300~400	0.07~0.09	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
下地調整	レベモルカチオン薄付 (レベモル#300A 20kg レベモルカチオン#700B 3kg) 清 水	100 30~40	0.8~1.0	1	48時間以上	はけ塗り ローラー塗り 吹付け (ラフトン1号ガン、 口径4mm)
上塗り	クールトップSi 清 水	100 0~10	0.12~0.15	2	4時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

- ・乾式洋瓦(モニエル瓦、スカンジナビア瓦など)や陶器瓦には塗装できません。
- ・フックボルトキャップ等の処理は別途必要になります。
- ・下地調整材にレベモルカチオンベースが使用できます。レベモル弾性ベースは使用できません。
- ・中塗りにレベクールコートを使用すると更に遮熱効果が得られます。
- ・水切り部で上下の板が塗料で付着している箇所は、皮スキなどで縁切りしてください。

### ●アスファルトシングル材屋根

工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗 回 数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・表面の脆弱部、劣化している旧塗膜、ごみ、汚れなどを高圧水洗で、除去する。(板と板のすき間は入念に清掃する。) ・素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する)					
下塗り	スズカアルマシーラー	100	0.10~0.15	1	18時間以上	はけ塗り ローラー塗り
上塗り	クールトップSi 清 水	100 0~10	0.12~0.15	2	4時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

- ・スズカアルマシーラーは2液タイプです。主剤、硬化剤は正確に計量し、均一にかくはんしてご使用してください。
- ・中塗りにレベクールコートを使用すると更に遮熱効果が得られます。
- ・水切り部で上下の板が塗料で付着している箇所は、皮スキなどで縁切りしてください。

### 塗装上の注意事項

- 素地調整は入念に行い、素地を十分に乾燥させてください。  
素地調整、乾燥が不十分で塗装しますと、ふくれ、はがれ、割れなどの原因になります。
- 塗付量が少ないと十分な塗膜性能が得られませんので、標準塗付量を厳守してください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 塗装は天気の良い日を選び、塗装後に降雨・急冷・結露の恐れがある場合は、塗装を避けてください。
- 水洗い時の屋根は、滑りやすいので足元にご注意ください。
- エアレス塗装の場合、エアレス機の中に溶剤が残っていると詰まりますので、予め水をよく通してからご使用ください。
- 高圧水洗やエアレス塗装時の飛散ミストは、トラブルの原因になりますので、十分にご注意ください。
- 塗装用具は、塗装後直ちに洗浄してください。
- 塗装後3~5時間位は、絶対に雨に合わないよう、また山間部などで、夜露が早く降りる地域では、塗装を早めに終え、乾燥時間を確保してください。
- 新生瓦の場合、水切り部で上下の板が塗料で付着している場合は、皮スキなどで縁切りをしてください。
- 水性ベスコロ下塗はカチオン系ですので、一般の水系塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般の水系塗料に用いたはけ・ローラーなどの塗装用具を共用されますと固まる場合がありますので避けてください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

### 取扱い上の注意事項

- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。  
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所(5℃以下)など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

**プライマーU、透明型ラフトンシーラーなどの溶剤系塗料を用いる場合は、上記の取扱い上の注意事項と、下記事項を合わせて、注意してください。**

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気を良くし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
有毒ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、粉末消火器を用い初期消火をしてください。



営業本部 〒530-8411 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル) ☎06-6365-1116 FAX06-6365-1112  
技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎0593-46-1116 FAX0593-46-4585

ISO 9001 認証取得



札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎06-6365-1681	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
旭川出張所 ☎0166-29-6111	東北営業所 ☎0224-82-1633	群馬出張所 ☎027-253-4821
埼玉営業所 ☎048-643-7180	千葉出張所 ☎043-486-0096	神奈川営業所 ☎046-286-3220
新潟営業所 ☎025-271-2345	金沢営業所 ☎076-267-1922	静岡営業所 ☎054-236-0825
三重出張所 ☎0593-97-6115	平野営業所 ☎06-6791-6291	東大阪営業所 ☎072-862-1601
播磨営業所 ☎0791-67-1468	和歌山出張所 ☎073-472-3480	岡山出張所 ☎086-470-2808
松山出張所 ☎089-922-0577	北九州出張所 ☎093-562-1503	熊本出張所 ☎096-237-3342
宮崎出張所 ☎0985-50-6840	鹿児島出張所 ☎099-268-5208	沖縄営業所 ☎098-884-6054

取扱店

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

☐本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。